

ー現実逃避ー

こうして、大学三年生を一年遅れで過ごしはじめたのです。

大学三年生を一年遅れで過ごしはじめたものの、将来何になればいいのかはそう簡単には見つかりません。

どんな進路に進めばいいのか、皆目見当が付きません。

しかし、ただ時の流れるのを眺めていても仕方がない。👓

大学三年というと、卒論を書き始めるために、みんなそれぞれ研究室(ゼミ)に所属するんです。

その選択をするとても大切な時期なんです。

そこで、自分が大学で最も信頼している教授の所に行き、その教授の研究室に入れてもらえるよう、お願いをしました。

通常、研究室を決める方法は成績順です。

決して良い成績ではなかったのですが、根気よく通ったせいか、この教授の研究室に入れてもらうことができました。✧

よし、ここで精一杯頑張って、将来の夢を見つけるぞ！👍

ということで研究が始まりました。

私の研究課題は、、、

「導電性高分子絶縁材料における伝導特性」

でした。

なんのこっちゃい……という感じですよね。🤔

簡単に言うと、電気を通すプラスチックの材料研究です。

おもしろそうでしょ〜(そんなことない?！)

実際おもしろかったですよ。

この時期、ノーベル賞を取った白川英樹博士がやられていた研究とかなり近いものでした。

それを知った時はうれしかったですね〜

白川博士の足元にも及びませんが、でもなんだか鼻高々でした。

そんなこんなであっという間に大学三年生も終わりが近づいてきました。

そしてとうとう始まりましたよ、就職活動が。

何社も何社も資料請求のハガキ📄を出しましたよ。

今のよう、ネットで請求なんてありません。

ひたすらハガキです。

ハガキを出してもそれに返事をしてくれない会社もたくさんありました。😓

あまり大きな声では言えませんが、学校に勤める前に勤めていた会社のグループ企業も返事をくれませんでした。✖

たくさんの資料にかこまれ、どうするかを悩みました。

どこ📄を受けていいのか決めかね、医療機器を開発している会社を何社か見学に行くことにしました。

どこかに医者につながるものを求めているのでしょうか。

でも何かが違いました。

求めているものはここではない・・・

悩みに悩んだ末、就職はやめて、大学院に行ってみようと思いました。

そうすれば自分の研究分野から何かが見つかるかもしれない、そう思い大学院に進学することにした。

そう、現実から逃げてみたのです。

進学するということを母親に話したら激怒してしましたが👊👊